

会 議 録（１月）

平成 29 年 1 月 19 日
教育委員会会議室

- | | | |
|---------|-------------|---------------|
| 1. 出席委員 | 教育長 島 寄 善真理 | 教育長職務代理者 松本 学 |
| | 委員 興 梠 瞳 | 委員 寺本 俊文 |
| 欠席委員 | 委員 石井 勇 | |
| 2. 事務局 | 教育次長 武内 秀元 | |
| 3. 書 記 | 教育次長 武内 秀元 | |
| 4. 報 告 | | |

5. 協 議

- (1) 学校給食のあり方に関する検討会について
(平成 23 年 7 月 7 日に開催された検討会を振り返る)

6. その他

- (1) 第 7 回市町村対抗駅伝大会の結果について
- (2) 第 4 8 回町民駅伝競走大会及び第 3 2 回小学生ロードレース大会について
- (3) 全国学力・学習状況調査及びみやざき小中学校学習状況調査の結果について

※ 全国学力・学習状況調査及びみやざき小中学校学習状況調査の結果については、
非公開とする。

連絡事項

- (1) 教育委員会行事予定（１・２月）について

会 議 録 午後5時00分開会

教育長 あいさつ

議事録署名委員：寺本 俊文 委員

Q・・・Question（質問）、A・・・Answer（回答）
O・・・Opinion（意見）
E・・・Explanation（説明）

【4 報告】 ※ 今月はなし。

【5 協議】

1 学校給食のあり方に関する検討会について

(平成 23 年 7 月 7 日に開催された検討会を振り返る)

① 資料に基づき、教育次長が説明する。

- ・平成 22 年度及び平成 23 年度に学校給食のあり方について検討した経緯があり、平成 23 年 7 月 7 日には第一回の「給食のあり方に関する検討会」を開催している。

- ・「給食のあり方に関する検討会」での検討経緯がわかればお教えいただきたい。

【平成 22 年度】

- ・検討のきっかけは、町議会議員から G 授業を行う場合、せつかくなら 1 ヶ所に集まって授業を行った後に、給食まで一緒に食べて帰る方が良いのではないかと、いうところから始まり、町としても給食センターを考えるとという方向で話しを進めようとしていた。
- ・教育委員会としては、重要な教育方針に関わることなので、町の給食のあり方について基本的な方向性を決定したいとしている。
- ・センター方式で行った際、給食調理員の人員が余ることになるので、その余った人員で地産地消担当を決め、センター方式にプラスして地産地消を進め、よそにない新しい給食センターを目指す。
- ・新年度予算に給食センターの測量設計委託料を計上しているが、検討中であり、留保予算として、改めて来年度の 9 月補正で対応することになるかもしれない。
- ・教育委員会としては、給食センターを平成 24 年度から稼働させたいと思っている。

【平成 23 年度】

- ・7 月 7 日には第一回の給食のあり方に関する検討会を 10 名で組織し、開催している。
- ・教育長が替わり、もう一度給食のあり方について、一旦白紙に戻して検討し直すこととした。
- ・最初から給食センターありきではなく、検討を進める。また、学校が取り組める地産地消について検討する。
- ・自校方式が良いのは分かるが、将来の児童生徒数の動向を見た場合に、このまま行くのは難しいのではないかと。
- ・また、学校の統廃合を含めた基本的な学校のあり方についても、避けて通れない問題であり、教育委員会で協議する。
- ・センター方式で行っているところの視察研修を行うこととし、11 月 2 日に新富町の給食センターを視察する。

【平成 28 年 12 月 15 日の総合教育会議での町長等の方針】

- ・行政改革の一環として、給食調理員の退職不補充を考えている。

- ・ 自校方式以外の方法でやろうとする場合、デメリットをカバー出来ると判断が下れば、自校方式以外の方法を推進したい。
- ・ 日之影町は、親子方式で行っている。
- ・ 基本的な考えは、これから五ヶ瀬町として自立していく上でやむを得ないというのが背景にある。地方交付税も確実に減らされていく。
- ・ 過去にセンター方式でやろうと検討していた訳だから、その時の意見を尊重して検討を継続すべきではないか

(質疑)

- 1 総合教育会議の中で、過去にセンター方式でやろうと検討していた訳だから、その時の意見を尊重して検討を継続すべきではないかと言われても、平成 22 年度時点と現在ではメンバーも替わっているし、あれから数年経っており、考えが変わるのは仕方ないのではないか。

Q 1-1 検討していたが途中で立ち消えになったのか、(学校の)統廃合の方に話しが切り替わったのか。

A 1-1 記憶が曖昧なところがあるが、最初はセンター化という方向で検討していたが、五ヶ瀬の教育の方針が進んで行く中で、自校方式が今の教育方針にマッチしているのではないかとこの考えが強くなってきた。

Q 1-2 当時の色んな資料を紐解いてみたが、途中で消えている。

A 1-2 この話しが始まったのは G 授業が始まった頃で、G 授業を進めるのにバスを使って 1 校に集めていく流れが道路環境も良くなったために、それを証明するものとして給食をセンター方式にして、給食も町内同じ時間で利用できるようにするというのが最初の話しである。鞍岡小学校の給食室が悪かったが、改修にお金がかかるから、そこに費用をかけるならセンター方式というのも考えてはどうかということになった。地産地消を進めるのにも、日之影町でも(センター化の)そういう話が出ていたから、地産地消を進めて地域から野菜等を納めたり、米も J A を通じて取り寄せてはどうかとのことであったが、それは商工会からストップがかかって出来なくなった。

○ 2 センター化の話しを進める中で、給食調理員に話しを通していなかったの
で、給食調理員から意見が挙がり、このままセンター化を進めるのはどうか
ということになった。

今回の総合教育会議でも、町長が(給食調理員の退職不補充に関して)述べたような形になると、こちらが思っていることとは違う内容が給食調理員に伝わってしまって、懐疑的な意見が出始めた。

E 1 私が(教育長を)引き継いだ時には、自校方式でいいと言われたが、紐解いていたら、平成 22 年度末に教育委員会はセンター方式というふうに検討

したはずだが、それについて検討していないのはどういうことかと言われ、調べてみたらそういうことだった。教育ビジョンの立ち上げ時期と今の安定期とでは状況がガラッと変わっているの、教育委員会としては以前も一度話しを出したが、望ましいのは自校方式ではないかと、色々な食育の面で調理員さんといつも触れられる、感謝の念を持ちやすい、学校独自のバラエティ豊かなメニューが可能である、それから給食の匂いが10時頃になると香ってくるのが情緒的な面も含めて、教育上良いという思いは持っている。ただ、財政的な面からいうと町長が最後に言ったようなことを抱えている。もう一度、原点に返って今の状況を鑑みた上で、自校方式、親子方式、センター方式、デリバリー方式、デリバリー方式は民間に委託した場合なので無いと思うが、その3つについて丹念に情報収集しながら、教育委員会としてセンターありきではなくて、それぞれの良さ・デメリットを分析して総合的にこれで行きましょうというような検討結果を向こうに持って行きたいと今は思っている。

小学校の統廃合問題も絡むという議事録も教育委員さんの間から出ている、それが決まらなと教育委員も意見が出し辛いという意見もあった。確かにそうだと思う。

今、自校方式だからこそ教育ビジョンが上手く回っているというのも実際ある。調理員さん達が、本務ではないがビジョンに関わってくださって協力してくださる。当初は問題だったようであるが、今はそこを上手く調整して、給食についても何の問題も無くなっており、当時とは随分変わっている。ということで、これは一般的なメリット・デメリットが書いてあるインターネットから取った資料で、これを参考にしながら、五ヶ瀬の実態に合ったメリット・デメリットを上げていく必要があるかなと思っている。この資料は、うちの実態について、栄養教諭が考えてくれたもので単独（自校方式）の白丸は良さで、黒丸は課題があるところ、センター方式は経験したことが無いが想定されるものをまとめてもらっている。こういったものも使っていきながら、教育委員会でも議論して行きたいと思っている。

協議の方向性はそういった形で持って行ってよろしいか。

Q 2 私も以前言ったように自校方式以外の方法には反対意見であり、今もそうであるが、残すためにどうすれば良いかということを考えれば良いのか、作るためにどうすれば良いのかではなくて、残すためにどうすれば良いのかを。

A 2 そうである。うちとして自校方式が一番望ましいと思っている訳で、その根拠となる裏付けをしっかりと、こうだからこうだという勝負がしたいと思っている。センター方式についても良さと悪いところを認めていかなければいけない。

E 2 それと平成23年度に組織した「学校給食のあり方に関する検討会」みた

いな検討会を平成２９年度から立ち上げて、外部からの意見も貰わないといけない。そこでも検討結果をここで開示して、それを検討材料にして行くというのが良い。どうしても我々だけだと見方が偏ってしまう可能性がある。そういう組織作りについても進めてよろしいか。

- ３ この間の総合教育会議の印象では、町長が財政を第一に考えてそういう方向性で行くと思うが、（教育委員会としても）この検討は十分していくことになるが、財政面の話しになってくると思うので、比較対象としてどれだけの経費が実質かかるかというところまで、教育委員会が検討すべきことではないと思うが、心象だけで行くとメリット・デメリットが推せるかどうかは気になる。自校方式が良いというのは分かるが、それをどうプッシュするのか、向こうがそういう方向で来ると、やり方が教育委員会としては弱い。

鞍岡小学校の給食室改修の話が出た時も、経費がかかるのでセンター方式にすると言われたら、私たちがそれを反対する訳にはいかないという部分があった。

- ４ （各学校の給食室の）調理器具の買い替えや大きな修理が必要であるとか、そういったものも把握しておかないと難しいのかなと思う。

Ｅ３ 鞍岡小学校の給食室は、床が汚かったが２年ほど前に改修している。

Ｅ４ 経費的な積み上げの資料も必要である。

- Ｅ５ 今後の（給食調理員の）退職見込みがここ３・４年で２名が定年を迎える。自校方式で行くなら、要望としては退職の補充に関しては臨時職員での対応をお願いしたい。それを続けて行って、現業職の採用を考えるというところまで行けたら良い。そこはどうなるか分からないが、その積み上げの協議は求められている。

Ｑ３ センター方式になると保育所まで絡んでくるのか。

Ａ３ 保育所は、単独で給食室が無ければいけないと聞いたことがある。

Ｅ６ 感覚とか感じとかでは通用しないので、しっかり根拠を持つ必要がある。

Ｑ４ （自校方式を堅持するために、財政が厳しいと言うのであれば）他の部署の予算を削ってくれと言っても良いのか。

Ａ４ そこまで言いたいが。この前、町長に「自校方式が無いという訳ではないですよ。検討してくれということですよね。」と確認したら、町長から「自校方式がダメとは言っていない。判断材料が無いから、何が良いのか分から

ない。その判断材料となるものを教育委員会で検討してくれ。」と言われた。

(決定事項)

- ① センター方式ありきではなく、自校方式、センター方式、親子方式のメリット・デメリット等を確認しながら協議を進める。
- ② 給食のあり方検討会を平成29年度に立ち上げる。

【6 その他】

1 第7回市町村対抗駅伝大会の結果について

- ① 資料に基づき、教育次長が説明する。
 - ・平成29年1月9日に宮崎市で開催された第7回市町村対抗駅伝大会は、五ヶ瀬町Aチームが3位入賞を果たし、五ヶ瀬町Bチームが15位と健闘した。
 - ・区間賞に2区を走った毛利信俊氏、3区を走った甲斐治輝氏が受賞した。毛利氏は、市郡の部を合わせ、総合で1位である。
 - ・Aチームは、一時は、全体で4位、5位を競う展開であった。最終的には、全体では17位であった
 - ・本町は、前回大会より3分42秒短縮し、躍進賞も受賞した。
 - ・1月20日に木地屋で慰労会を開催する。

(質疑)

なし

2 第48回町民駅伝競走大会及び第32回小学生ロードレース大会について

- ① 資料に基づき、教育次長が説明する。
 - ・平成29年2月19日に開催する。
 - ・参加申し込みは、明日までになっているが、現在のところオープン参加1チームの申し込みである。

(質疑)

Q1 今年も中等教育学校からの参加はないのか。

A1 今のところ分からないが、出てもらえると有り難い。

3 全国学力・学習状況調査及びみやざき小中学校学習状況調査の結果について

※ 非公開とする。

4 五ヶ瀬教育ビジョンのパワーアッププロジェクトについて

- ① 資料に基づき、教育長が説明する。
 - ・教員の自主的な研修を促進するためにパワーアッププロジェクトを昨年度から

取り組んでいる。今、14人メンバーがいるが、その一人から「ジビエを通した西村直子氏の世界観とこれからの五ヶ瀬の魅力創出」として、町の課題となっている鳥獣害を給食素材としても視野に入れながら、共に考えていけないか、研修会を組みたいと三ヶ所小の栄養教諭から提案があった。

- ・諸塚の解体場に視察に行ったら、その考え方に感銘して、そこで西村氏を紹介された。それで西村氏にアポを取ったら快諾していただいた。西村氏は世界各地を回られている高知県の方である。
- ・2月28日に講演会を開催する。予算は、教育ビジョン費で組んでいる。
- ・中学校3年生が行っているデザインプロジェクトにも繋がる講演会になる。

(質疑)

なし

連絡事項

1 委員会の1・2月行事予定

※ 一覧表により次長が説明する。

次回の定例教育委員会日程

2月22日(水) 午後5時30分頃

閉会時刻 午後5時54分

教 育 長

会議録署名委員

会議録調整者